

第 23 回児童福祉審議会議事録

日 時 平成 29 年 4 月 20 日(木) 9:30~11:15

会 場 市役所 3 階 会議室 B

出席委員—井上亮子、岩波啓之、岸川洋治、木津りか、小林秀次、五本木愛、小村陽子、佐藤みどり、
新保幸男、関島忍、永妻和子、新平鎮博、檜山直春、宮嶋美紗、宮田丈乃、宮本朋幸、
室谷千英、吉田裕一

欠席委員—飯島奈津子、織田俊美、菊池匡文、澁谷昌史、関守麻紀子、福士貴子、松本敬之介
(五十音順、敬称略)

事 務 局— 濱野こども育成部長

こども育成総務課	依田課長、飯田係長、小野
こども青少年支援課	奥津課長
こども青少年給付課	佐藤課長
こども健康課	森田課長
保育運営課	吉田課長
教育・保育支援課	草野課長、新倉課長補佐
こども施設課	大石課長、杉浦係長
児童相談所	高場所長

傍聴者 3 名

1 開 会

会議定足数報告

出席委員 18 名、欠席委員 7 名で第 23 回児童福祉審議会成立。

2 辞令交付

3 議事 1

(1) 委員長及び副委員長の選出について

4 諮問書交付

児童福祉施設等の基準条例等の見直し、(仮称)放課後児童対策事業計画における付議案を記載した諮問書を児童福祉審議会 室谷委員長に交付。

5 市長挨拶

6 議事 2

(1) 児童福祉審議会条例の改正について

(2) 児童福祉審議会専門分科会委員の選任について

(3) 児童福祉施設の設備等に関する基準を定める条例等の見直しについて

(4) (仮称)放課後児童対策事業計画の策定について

7 報告事項

- (1) 平成 28 年度児童福祉審議会開催状況について
- (2) 平成 29 年度こども育成部の組織・予算の概要について
- (3) 平成 28 年度横須賀市児童相談所の相談受付状況について
- (4) 第 1 期横須賀市障害児福祉計画策定について

8 その他

9 閉会

【審議結果】

- (1) 委員長は互選で室谷委員、副委員長は委員長が宮田委員を指名した。
- (2) 児童福祉審議会専門分科会委員の選任について、原案どおり決定した。
- (3) 児童福祉施設等の基準条例等の見直しに係る諮問を子ども育成分科会に付託した。
- (4) (仮称) 放課後児童対策事業計画に係る諮問を子ども・子育て分科会に付託した。
- (5) 報告事項について了承された。

【意見概要】

(3) 児童福祉施設の設備等に関する基準を定める条例等の見直しについて

(吉田委員)

1 つ目は、地方分権で地域の特性に応じて条例を作るということなので、全国一律の省令の網のままでいいのかどうか。全国と同じような基準で横須賀市はいいのか、あるいは市の姿勢としてここまで踏み込んだ方がいいのかというところの整理ができていようであれば、資料をいただきたい。もう 1 つは整合をさせる手法についてだが、条例自体を改正しなくても、逐条解説を出すことで対応できるのではないかと思うが、その辺りについての考えを伺いたい。

(事務局)

省令の一言一句全てをそのまま条例にするのではなく、例えば保育士の数など部分的に横須賀市独自の取り組みを進めているところである。横須賀市独自の部分をまとめて、ご報告させていただきたいと思う。

2 つ目の逐条解説については、2011 年の地域主権改革に対応した基準条例の作り方の一つに参照方式と呼ばれているものがある。大部分の自治体は省令に書かれている規定を参考にしながら同様のものを条例に書くという方法をとっているが、一部の自治体ではその省令そのものをそのまま使うという方法をとっていて、リンクを貼るような手法を取り入れられている。これは長所ばかりでなく短所の指摘もあるので、その辺りはお力を頂きながら検討したいと考えている。

(室谷委員長)

新しい委員もいるので、見直しをされていく中で次回も資料を出していただきたいと思う。

(4) 第1期横須賀市障害児福祉計画策定について

(岩波委員)

この計画の策定については、当審議会とどのような関係になるのか。

(事務局)

計画の策定自体は社会福祉審議会の中で行うが、今後社会福祉審議会での議論の中で出たご意見は何らかの形で当審議会に報告したいと考えている。

以 上

*この議事録は、委員等の発言を事務局において要点筆記したものです。